



上富田町岩田財産区議会議長  
平野 亨

## 岩田財産区議会廃止についてのご挨拶

岩田・岡在住の皆様方には益々ご健勝の事と心よりお喜びを申し上げます。

さて、岩田財産区の議会を平成19年3月18日の議員任期満了日をもちまして、同19日に岩田財産区を廃止することと相成りました。ついては財産区議会としては前々よりこのような事態を予測はしており、種々議論を重ねて参りましたが、いよいよ現実のものとなってしまいました。その手続きにつきましては上富田町長とも相談の上、ご了解を得て、県知事による廃止関連の事前審査等で、逐次御報告できなかつた事に関し、地区住民の皆様方のご協力とご理解の程重ねてお願いをする次第です。

岩田財産区議会は、昭和34年3月19日から、先人の方々が残されました財産を基に、大事に大事に守り乍ら議員が議会を通じて一生懸命地区住民の皆様方の為に尽くして参りました。

思えば昭和30年後期の開墾ブームには住民の方々に土地の払下げを行い、又、植林ブームには地上権山林の貸付も行い、その収入等により管理運営をして約半世紀に亘り岩田小学校岡小学校の建設、岩田・岡の両高齢者憩の家、岡創作館等の建設費への助成、町道・県道の道路整備の負担、各町内会への援助等を行い、地域の振興発展の為に寄与して参りましたが、平成時代に入り急激な社会情勢の変化、いわゆるバブルの崩壊により土地価格の下落、輸入木材の急増により木材価格の長期低迷が影響し、現在では財産収入がほとんどなく財政上の問題等により今後の財産区を運営する事が困難となり、此の度、財産区を廃止するに至りました。

現在の議長として半世紀近くに亘る長い歴史を持つ岩田財産区に終止符を打つことになった事は、私の力不足と反省をして非常に残念な思いでいっぱい、深く心より岩田・岡地区住民各位にお詫びを申し上げる次第です。最後になりますが、今後の景気回復を願いながら岩田・岡地区住民の方々のご健康とご多幸をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。



上富田町岩田財産区管理者  
上富田町長 小出 隆道

岩田村のあゆみ(岩田財産区史)を発刊するにあたりご挨拶を申し上げます。上富田町は昭和33年に発足し、その翌年に「上富田町岩田財産区議会」が設置されています。新上富田町は富田川町と上富田町が発足したとはいえ朝来村、生馬村、岩田村、市ノ瀬村、下鮎川の色合いが残る町行政運営が非常に難しい時期であったものと思われまます。その中で財産区の役割は地元住民にとっては大きな存在であり、町行政の推進に前進的に取り組んでいただきました。特に学校施設の改善や地域の国道、県道、町道を始めとする道路、上下水道、通信施設の生活基盤に尽力を賜っています。

今日の上富田町を見れば、皆様方のたゆまない努力により全町的に均衡の取れた町づくりが出来ていますし、上富田町に唯一の中学校も約40年の歴史を有する素晴らしい学校に育ち「教育の町・上富田町」としての顔になっています。又、岩田地区に和歌山県福祉事業団の諸施設があり「福祉の町」としても県下に誇れる町となっています。これもひとえに「岩田財産区」の皆様のご協力によるものと厚くお礼申し上げます。今後とも岩田・岡地区の発展と皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。